

SAJ

サバイイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバイイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.46

2022.6 月号

スレイノイー登壇



5月23日、ワタミ株式会社創業祭がパシフィコ横浜にて行われ、孤児院「夢追う子どもたちの家」からの大学生一号である、ナウ・スレイノイーがSAJを代表して登壇しました。現在日本で働いているスレイノイーは、「カンボジアと日本の懸け橋になる」という夢を堂々と発表しました。これからの彼女の活躍を見守っていきたいと思います。

支援活動のご報告 (指定寄附別)

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



孤児院園内修復

孤児院開設以来、約15年間使い続け老朽化となっていたベッドやマットレスを新調いたしました。きれいになったベッドと新しいマットレスになって、子どもたちも喜んでいました。また孤児院入口正面のロゴも経年劣化により薄れていたので、描きなおしました。「夢追う子どもたちの家」というロゴがくっきりと鮮やかに見えるようになりました。



学校運営 (バングラデシュ) 【NDMSC】

NDMSC 始業式

バングラデシュのナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール&カレッジ (NDMSC) では、長期休暇明け始業式を開催しました。4月3日～5月3日にイスラム教のラマダン(断食)期として長期休暇でしたので、皆コロナの影響もなく無事再会できたことを喜んでいました。始業式の朝のアッセンブリーでは「7つの約束」を復唱し、日々夢に向かう誓いを立てています。



カンボジアの 渡航状況

カンボジアへの入国は3月に大幅に緩和され、入国前の陰性証明書の提出は必要なく、2回のワクチン接種証明書を提示した場合隔離措置も必要ありません。また日本への帰国も6月に緩和され、2回のワクチン接種証明書と帰国72時間以内に受けた検査の陰性証明書を提示した場合、日本帰国後のPCR検査及び隔離措置は必要ありません。しかし、未だに日本からカンボジアへの直行便は再開しておらず、バンコクや韓国での経由が必要です。

孤児院卒園生の活躍

プノンペン事務所より

プノンペン事務所では、奨学生に学費や生活費を支払ったり、卒園生(OBOG会)の管理をしています。孤児院を卒園した子どもたちが、大学進学や就職など活躍の場を広げています!!そこで、感謝を込めて皆様にご報告していきたいと思ひます。



ハイ・トール

タヤマ日本語学校卒業

年齢：27歳

現在やっていること：弁護士のアシスタント

将来の夢：自動車の部品販売

私は公益財団法人 School Aid Japan の孤児院の卒業生、ハイ・トールと申します。現在仕事は弁護士のアシスタントです。この仕事は素敵な仕事で色々な人に出会います。この仕事は皆から僕を高く評価され、尊敬されています。法律を勉強していなくても、この仕事はコミュニケーションと相互尊重について多くのことを教えてくれました。ですから、孤児院で多くのことを学んだことは私の人生にとってとても大事だと思います。School Aid Japanのおかげで、現在の社会に生活することができます。そして代表、里親様に私たちをいつも支援してくれて心から感謝しました。いつもありがとうございました。また結婚して今生まれたばかりの息子がいます。本当に嬉しかったです。家族の中に、一番責任を取る僕にとっては大変ですが、

諦めずに頑張っていきたいと思ひます。代表がワタミオンにいらっしゃった時、『奥さんの面倒を見てください。』と約束したことをいつも思い出しています。また、家族の代表として、いつも応援してくれた小林先生と里親様に心から感謝します。いつもありがとうございました。最近、忙しいのでお父さんにお電話をできず、本当に申し訳ございません。また、お世話をしてくれ、たくさんのアドバイスをしてくれた全員職員の皆様に心より感謝します。そういう指示は私の人生に本当に役立つと思ひます。高校卒業試験を不合格でも、School Aid Japanのおかげで、タヤマ日本語学校を卒業することが出来ました。ありがとうございました。



ミア・ピサイ

プノンペン大学(日本語学科)3年生

年齢：21歳

現在やっていること：Gunze Sports Japan

将来の夢：日本で働くこと

学生の生活にはSAJから生活費をもらって生活をしています。コロナの影響で学校はオンラインになっています。そうすると電話代とネット代などが必要になっています。いつもより生活がちょっと厳しいです。また、オンラインの勉強はネットが遅くて本当に不便です。

SAJのおかげで、孤児院生活をする時に、温かい気持ちご飯を毎日食べ、安心して眠れ、毎日学校に通え、保母さんにはいろいろ相談が出来て、本当に心から感謝しています。

いま私はまだ大学を卒業していないんですけど、自分の夢を叶えるように一生懸命を勉強します。日本の支援者の皆様、里親様に本当に心から感謝申し上げます。そして最後に支援様の皆様が、ご健康でお仕事に成功出来るように祈っています。

日本事務局からの報告 | 学校建設

2022年度建設予定の4校の詳細が決定いたしました。ここ数年は幼稚園建設の依頼が多く、今回承認を受けた4校はすべて幼稚園になります。今年度は18校建設する予定です。2025年度末までに400校の建設を目指します!

創業祭SAJブース開設



5月23日に行われたワタミの創業祭では、3公益事業の紹介としてSAJブースを開設しました。ブースでは募金箱へご寄附いただいた方に石鹼をお渡しし、事業内容のご説明をしました。

理事評議員会の報告

《構成メンバー》

■代表理事：渡邊美樹

■理事：鳥井親一、清水和雄、
武長彩子、高橋亮

■業務執行理事：青木茂雄

■評議員：大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、
戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美

■監事：片山進平、清野貴彦

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

第227回理事評議員委員会が2022年5月24日に開催されました。(場所：ワタミ本社)

[報告事項]

議案1：2022年度4校の入札結果と発注金額に関する検討と承認

報告1：孤児院 近況報告

報告2：プノンペン事務所報告

報告3：バングラデシュ報告

報告4：カンボジア教育支援視察ツアーについて

報告5：会計報告

今後の予定

7月25日…理事評議員会

8月29日…理事評議員会

3年ぶりにリアル開催したワタミ創業祭で、久しぶりの再会がありました。孤児院OGのスレイノイです。彼女は今年の5月より、カンボジアから技能実習生として来日し、ワタミの工場で働いています。彼女の夢は、日本で働くカンボジア人向けのスーパーマーケットの開業です。「日本とカンボジアの懸け橋になりたい」という彼女の夢が叶うのも、そう遠くないことでしょう。スレイノイは幼くして両親を亡くし、兄弟とともに極貧生活を送っていました。そんな彼女を現地の社会福祉局から紹介され、2008年にSAJの孤児院に入園しました。彼女は孤児院で誰よりも勉強し、学校の成績はいつもクラスで一番でした。その努力が実り、王立プノンペン大学日本語学科に合格しました。孤児院から初めての大学生が生まれたのです。首都プノンペンから遠く離れた孤児院からでも、頑張れば一流大学に合格できる。彼女が孤児院の後輩に「やればできる」と身を持って教えてくれたことで、子どもたちは大きな夢を描けるようになりました。実際、彼女に続いて27人が大学生として孤児院から巣立っています。彼女が私に言った「日本語の辞書を貸してください」という言葉は今で

も忘れられません。謙虚な彼女は「買って」ではなく「貸して」と言ったのです。大学卒業後、彼女は孤児院に勤務し、通訳や翻訳の仕事をしてながら、良き先輩として子どもたちに寄り添ってくれました。そして、念願だった日本で働くチャンスを手に入れたのです。スレイノイと日本で再会して、あらためて『奇跡が起きたな』と思います。極貧生活でやせ細り、表情にも覇気がなかったスレイノイが、いま日本で夢を叶えようとしているのです。このような奇跡が起きるのは、孤児院運営寄付や里親をしてくださる支援者様がいらっしゃるからこそです。孤児院では現在、里親を募集しております。皆様のご支援をお願い申し上げます。



ワタミ創業祭にて

ふれあい サポーター 募集

文房具や制服がないため学校に通えない子どもたちが増えています。ふれあいサポーターになって“子どもたちの学習の機会を守っていききたい”と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局にご連絡ください。



ご支援いただいた寄附

2022年

4月の寄附金合計	8,483,271円
(内訳) 会員会費	2,587,560円
一般寄附	304,824円
指定寄附	5,590,887円

募金箱回収ありがとうございました

2022年4月募金箱回収

- SOMPO ケア ラヴィーレ武蔵境
- ワタミ(株)
- ヘアアメニティスペース IRE
- 「三代目鳥メロ」明石駅前店
- 「ミライザカ」大和八木店

募金箱回収して下さった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2022年1月現在のものです。
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

物品寄附

現在、孤児院ではノートパソコンおよびスマートフォンが不足しております。リモートによる授業やzoomによるコミュニケーションが増えたからです。昔使用していたものや、買い替えて不要になる方がいらっやいましたらよろしくお願ひします!



これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)



32億
448万1,028円

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)



100,943人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2020年度)



12,312人

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)



318校

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2020年度)



16,346人

SAJの建設した学校で
朝給食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2020年度)



125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額) 1口 12,000円
法人会費(年額) 1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(パングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、
便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく
ことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

- 郵便局: 00140-5-345903
- 三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。